

3 検討会における検討経緯

1. 心の健康問題の正しい理解のための普及啓発検討会

- 座長 : 高橋清久 (藍野大学長、国立精神・神経センター名誉総長)
副座長 : 広田和子 (精神医療サバイバー)
 - 開催時期: 平成15年10月～16年3月 (計5回開催)
 - 16年3月、精神疾患等を正しく理解し、行動するための指針である「こころのバリアフリー宣言」を中心とする検討会報告書を公表。
- ※ 検討会終了後、座長、副座長より総理に議論の内容を報告。

2. 精神病床等に関する検討会

- 座長 : 吉川武彦 (中部学院大学教授)
副座長 : 伊藤雅治 (社団法人全国社会保険協会連合会理事長)
 - 開催時期: 平成15年9月～16年7月 (計11回開催)
 - 16年3月に中間まとめ、16年8月に最終まとめを公表。
- (最終まとめのポイント)
- ・ 目標値を設定した計画的な医療提供体制の再編
 - ・ 患者の病態に応じた病院・病床の機能分化
 - ・ 入院形態ごとの入院期間短縮と入院患者の処遇内容の改善

3. 精神障害者の地域生活支援の在り方に関する検討会

- 座長 : 高橋清久 (藍野大学長、国立精神・神経センター名誉総長)
副座長 : 板山賢治 (社会福祉法人浴風会理事長)
 - 開催時期: 平成15年10月～16年7月 (計12回開催)
 - 16年4月に中間まとめ、8月に最終まとめを公表。
- (最終まとめのポイント)
- ・ ライフステージに応じた住・生活・活動等の支援体系の再編
 - ・ 重層的な相談支援体制の確立
 - ・ 市町村を中心とした計画的なサービス提供体制の整備